

食品の異物混入見逃さない
X線異物検出装置
株式会社 イシダ
 www.ishida.co.jp

海外航空機産業と連携

技術力高い中小

JALUX マッチング新事業

JALUXは技術力のある国内の中小企業を、海外の航空機産業にマッチングさせる新事業に乗り出す。航空機部品を作る実力はあるが、自力での海外展開が難しい中小企業を後押しするが狙い。航空機部品メーカーから受注を受け、図面や仕様書を元にどの企業が対応できるかコーディネートし、完成した部品は同社が輸出する。日本航空系の商社として長年、航空機部品や材料を扱ってきた強みを生かす。早期に事業体制を確立し、4年後をめどに単年度の黒字化を目指す。

新事業は、まずJALUXが海外航空機部品メーカーから部品製造を受注する。入手した図面や仕様書を元に、1社単独か複数社で作るかなどを決め生産を委託する。対象とする中小企業は、独立技術を持ち、品質管理・保証の国際規格「IATIS」

ただ、現状では航空機産業に参入していないが、同等の技術を持ってると判断すれば認証取得などを求め協業を検討し、技術力の高い中小企業の発掘・育成を進める。事業開始にあたり、菊地園車(栃木県足利市)、金属技研(東京都中野区)、大和合金(同板橋区)の3社との協業を決めた。12月にフランスで開催される航空機産業向

け商談会に3社とともに参加し、事業展開をスタ

部品

名古屋で生産

三菱重工 民間機向け

【名古屋】三菱重工業(名古屋)で、2010年2月に航空機用エンジン部品の新ラインを稼働する。

心筋細胞99%選別

ES・iPS 細胞 心臓移植の第一歩

慶大など

慶応義塾大学の福田憲一教授とアスピオファーマ(東京都港区)などが、心筋細胞を99%の精度で選別する手法を開発し、心臓移植の第一歩

により可能になった。iPS細胞などを使った実用的な心臓移植の第一歩となる。心筋細胞を光では

ミトコンドリアだけを染める「TMRM」という色素を使い、心筋細胞を蛍光させた。蛍光量に応じた細胞を分ける「FACS」という装置で細胞を分別。心筋細胞だけを高精度で得た。従来の分別手法では心筋細胞を得る際に遺伝子操作を行っていたため、細胞を傷つけ腫瘍を作る危険があった。

5ヶ月ほど実験で作成できた心筋細胞の量に近づいた。さらに移植後、心筋細胞が成長する様子を観察できた。福田教授は「心臓移植に必要な心筋細胞の量はおよそ100万個。これを

